







# 安全上のご注意









- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)



## 図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

# 警告

 禁止	<p>取り付けできない天井・取り付けできない配線器具には無理に取り付けない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●取り付けできない天井           <ul style="list-style-type: none"> <li>・凹凸のある天井(格子天井・船底天井・竿縁天井)</li> <li>・傾斜した天井</li> <li>・取り付け部のまわりに凹凸や極端な突出部がある天井</li> <li>・簡単にたわむ天井</li> </ul> </li> </ul> <p>取り付けた場合でも火災・感電・落下など、けがの原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●取り付けできない配線器具           <ul style="list-style-type: none"> <li>・電源端子が露出しているもの</li> <li>・破損しているもの</li> <li>・ケースウェイに取り付けてあるもの</li> <li>・配線だけのもの</li> <li>・出しろがが少ないもの(埋込ローゼット/10mm以下、引掛シーリング/21mm以下)</li> <li>・取り付けが不十分でグラグラするもの</li> </ul> </li> </ul> <p>火災・感電・落下など、けがの原因になります。</p>		
 禁止	<p>電源は交流100V以外で使用しない。 火災・感電の原因になります。</p> <p>本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。</p> <p>室内専用なので、屋外では使用しない。 器具周囲温度5°C~35°Cの範囲内で使用してください。 火災・感電の原因になります。</p> <p>ストーブなど温度の高くなるものを本製品の近く・真下に置かない。 火災・故障の原因になります。</p>	 指示	<p>調光機能のついた電源(壁スイッチなど)は使用することができないので、電気工事士資格取得者に交換工事を依頼する。 火災・故障の原因になります。 工事は販売店・工事店などに相談してください。</p> <p>引掛シーリングの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま引掛シーリングの刃を差し込むと、ショート・火災の原因になります。</p> <p>お手入れの際には、必ず電源を切って、本体内部をぬらさない。 火災・感電の原因になります。</p>
 使用禁止	<p>異常時(こげ臭い、発煙など)は電源を切り、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。</p>	 分解禁止	<p>分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店にご相談ください。</p>
 指示	<p>取り付けや取りはずし、お手入れをするときは、必ず電源を切る。 感電・けがの原因になります。</p> <p>引掛シーリングは奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火・落下の原因になります。</p>	 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で、取り付け作業や取りはずし作業をしない。 感電の原因になります。</p>
		 水ぬれ禁止	<p>本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。防水仕様にはなっていないため、浴室などの常時温度が高い場所への設置はしない。 ショート・火災・感電の原因になります。</p>

## ⚠ 注意

 禁止	点灯中や消灯直後は熱くなっているため器具に触れない。 やけどの原因になることがあります。	 指示	カバーは確実に取り付ける。 落下など、けがの原因になります。
	本製品の一部分が破損した場合そのまま使用を続けない。また破損した部分に直接触れたりしない。 けが・やけど、落下の原因になることがあります。		天井の材質によっては、変色・変形することがあるので十分注意する。 光を発生し、熱も持つ機器のため、天井の変色・変形の原因になります。
	ものをぶつかけたり、衝撃をあたえない。 本製品の落下による、けが・やけどの原因になります。		設置して長期間使用すると、外部に異常がなくても内部の劣化は進行するので、点検する。 点検せずに使用を続けると、火災、落下による感電、けがの原因になります。
	LED光源を直視しない。 目に悪影響を及ぼす原因になります。		リモコンでスイッチを切ると、常時待機電力がかかっているため、長時間点灯しない場合は、電源（壁スイッチなど）を切る。 節電になります。
	ラジオやテレビなどの音響機器・映像機器を近くで使用しない。 雑音の原因になることがあります。使用する場合はできるだけ離して使用するようしてください。		被照射物との距離は1m以上あける。 色あせ、変色の原因になります。
	リモコンの電池を交換するとき、新旧の乾電池を混ぜて使用しない。 故障の原因になります。		リモコンが誤動作を起こすような場合、リモコンと本体のチャンネル設定を切り替える。 ほかの機器のリモコンが本製品を動作させたりする場合、逆に本製品のリモコンがほかの機器を動作させる場合、試してください。

## 乾電池に関する安全上の注意

■電池の使い方を誤ると、電池が液漏れ、発熱、破裂したり、けがや機器故障の原因となるので、次のことを必ず守ってください。

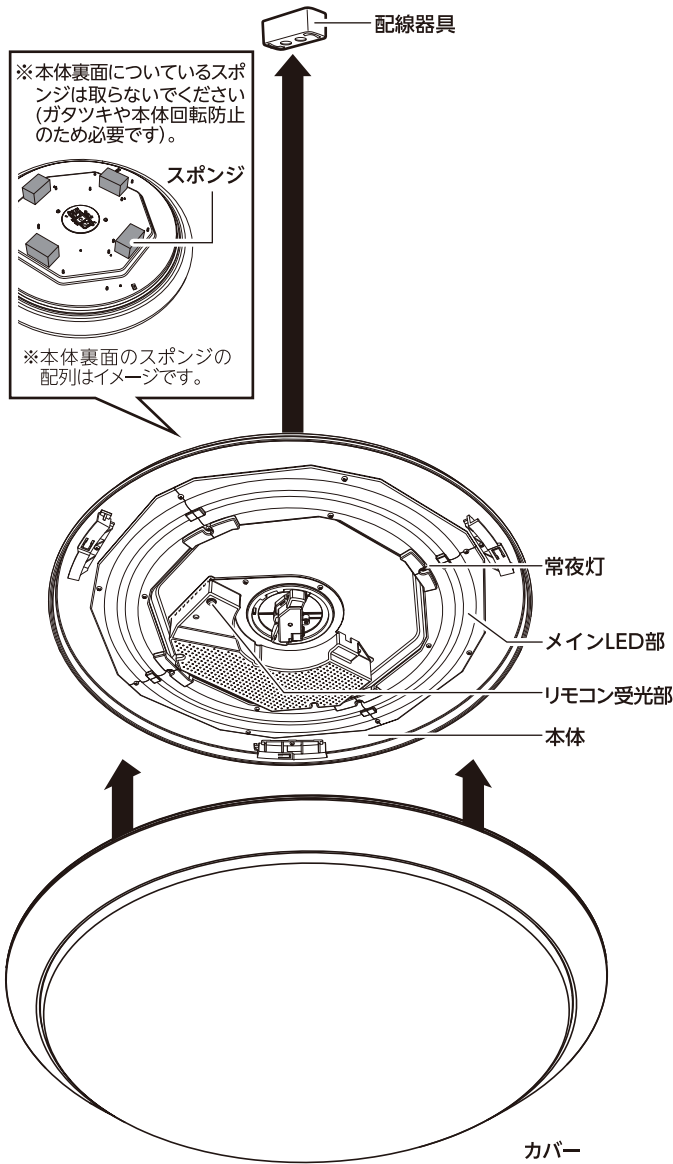
## ⚠ 警告

- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池の電解液が目に入ったときは失明などのおそれがありますので、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
- 電池を火に入れたり、加熱、分解、改造などしないでください。
- 電池の(+) (-) を逆に使用しないでください。
- 電池の電解液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。
- 電池の(+) (-) を針金などで接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保存しないでください。
- 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
- 使い切った電池はすぐ機器から取り出してください。
- 長期間機器を使用しない場合には、機器から電池を取り出してください。電池を入れたままにしておくくと液漏れがあり危険です。

## ⚠ 注意

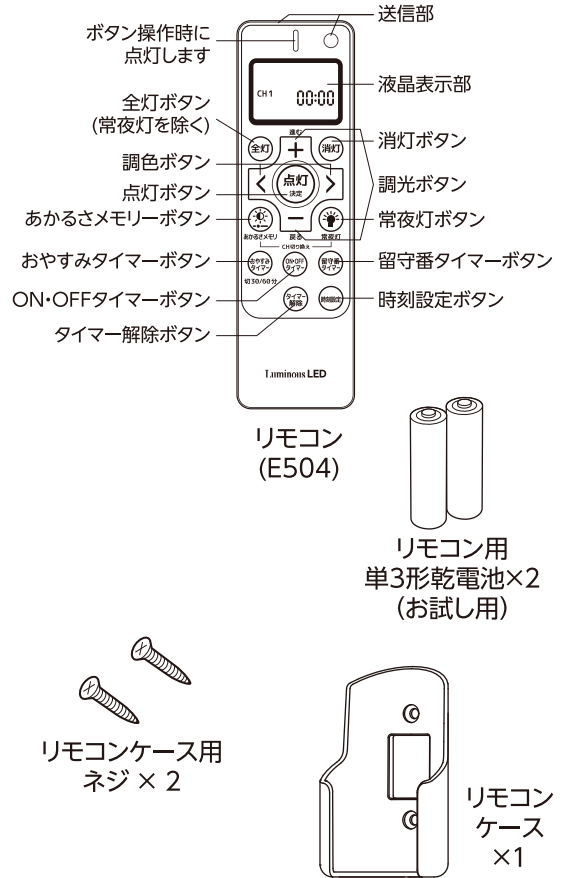
- 電池を落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。
- 電池の外装ラベルをはがしたり、傷つけたりしないでください。
- 新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄や種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- ニッケル系乾電池（オキシライド乾電池など）は絶対に使用しないでください。
- 充電式（ニカド・ニッケル水素など）電池を使用しますと、機器が持っている性能を発揮できないことがあります。（機器が誤動作するなど）
- 電池の消耗により正常に作動しない場合があります。その際は新しい電池と交換してください。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使用してください。

# 各部の名称とはたらき



※LEDの配列はイメージです。

## 付属品



**警告**

- 取り付け・取りはずしなど、必ず電源を切って行なう。感電や故障の原因になります。
- 配線器具が設置されていない場合、工事は販売店・工事店などに相談する。配線する、配線器具を取り付けるなどの作業は、電気工事士法施行規則(第二条)で有資格者での作業(電気工事)が必要と定められています。電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。

## 梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体 .....	1個	リモコン用単3形乾電池 (お試し用) .....	2本
カバー .....	1個	リモコンケース .....	1個
リモコン .....	1個	リモコンケース用ネジ .....	2本

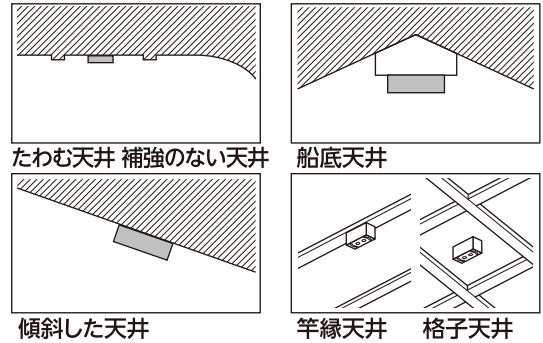
# 取り付けかた

## 取り付け前の確認事項

### 1. 取り付ける天井の状態を確認する

右図 [取り付けることのできない天井] のような天井になっていないことを確認してください。

### [取り付けることのできない天井]



### 2. 取り付ける天井についている配線器具を確認し、配線器具の出しろを計測・確認する

- 天井に右図 [取り付けることのできる配線器具] のような配線器具が設置されていれば、取り付けることができます。
- ただし、配線器具が以下のようなものである場合は取り付けできません。

#### 取り付けできない配線器具

- 電源端子が露出しているもの
  - 破損しているもの
  - 取り付けが不十分でグラグラするもの
  - ケースウェイに取り付けてあるもの
  - 配線だけのもの
  - 出しろが少ないもの (埋込ローゼット/10mm以下、引掛シーリング/21mm以下)
- 配線器具が設置されていない場合や、取り付けできない配線器具でも交換により取り付けできる場合がありますので、販売店・工事店にご相談ください。

### [取り付けることのできる配線器具]



出しろ11mm	出しろ22mm	
引掛埋込ローゼット	丸型フル引掛シーリング	丸型引掛シーリング
引掛埋込ローゼット (ハンガーなし)	丸型フル引掛ローゼット	角型引掛シーリング

### 3. 取り付ける電源 (壁スイッチなど) に調光機能がないことを確認する

- 調光機能のついた電源 (壁スイッチなど) の場合、使用できません。販売店・工事店にご相談ください。

調光機能付	スイッチのみ

### [取り付けできない配線器具]

電源端子が露出しているもの	破損しているもの	取り付けが不十分でグラグラするもの
ケースウェイに取り付けてあるもの	埋込ローゼット 10mm以下	引掛シーリング 21mm以下
配線だけのもの	出しろが少ないもの	

※ 上記イラストのようなスイッチ以外にも、調光機能の付いたスイッチは使用できません。

# 取り付けかた (つづき)

## 取り付けかた

### 1. 電源(壁スイッチなど)を切にする



**警告** 取り付けをするときや、お手入れをするときは必ず電源を切にする。感電・やけどの原因になります。

### 2. 回転部分を左(反時計回り)に回す ①

取り付け前に、透明窓(回転部分)を回転させて、左端(突起部分)まで回転させておきます。

- 回転させておくことで、不意に本体をはずそうとしても、配線器具などの破損を免れることができます。取り付けるときにもロックしやすくなります。

### 3. 配線器具に、本体を取り付ける ②

本体中央にある透明窓を見ながら、本体裏側の2つの引掛刃を天井の配線器具の2つの取付穴に同時に挿入し、十分に押し上げてから時計回りにカチッと音がするまで回してください。

※リリースボタンは押さずに回してください。

※2つの引掛刃を同時に挿入してください。

引掛刃が片方のみ挿入された状態で回すと、破損の原因になります。



- 本体裏に取り付けられているスポンジははずさないでください。
- 本体裏側にはネジの先端部などが複数露出していますので取り扱いにはご注意ください。

本体が正しく取り付けられているか、確認します。

- 回転部分が回転しない
- 本体がガタガタ・グラグラしない

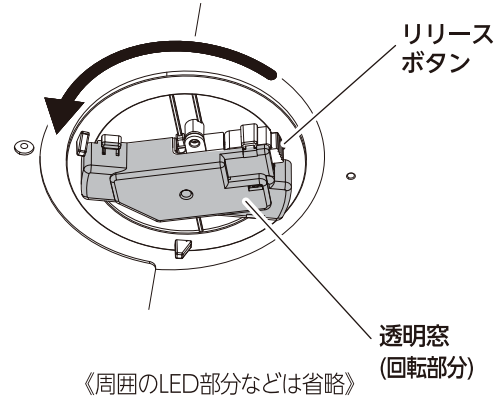
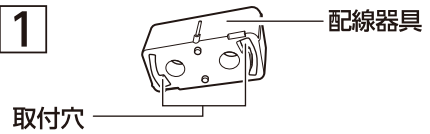
異常が認められましたら一度取りはずして、取り付け直してください。

(P13「取りはずしのしかた」参照)

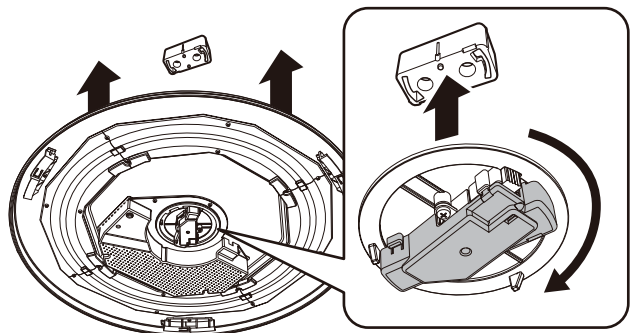
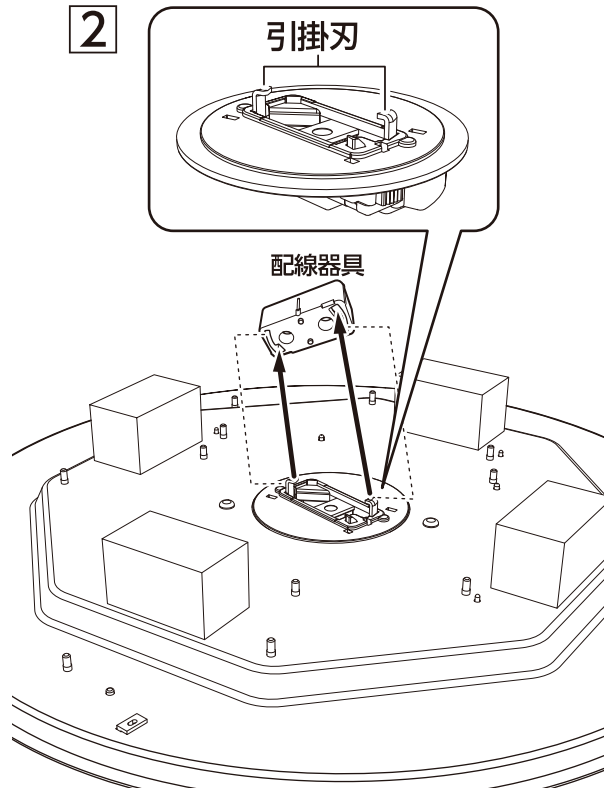


**注意** リリースボタンを押さずに回してみても、はずれないことを確認する。取り付けが不十分だと、落下してけがの原因になります。回すのに抵抗を感じる場合は無理に回さないでください。

1



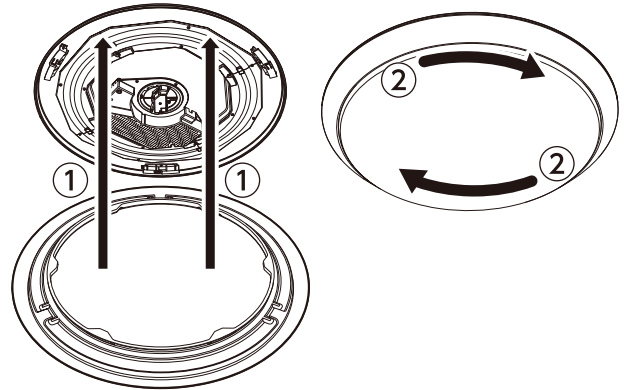
2



# 取り付けかた (つづき)

## 4. 本体にカバーを取り付ける

- 本体の真下からカバーを押し付け①、「カチッ」と音がするまで右に回します②。
- カバーが水平に取り付けられていることを確認してください。

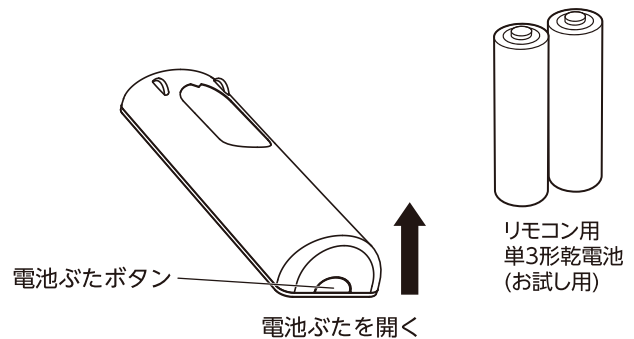


## 5. リモコンに電池を入れる

下記の手順で付属の電池(単3形乾電池)を入れてください。

### 1. 電池ぶたを開く

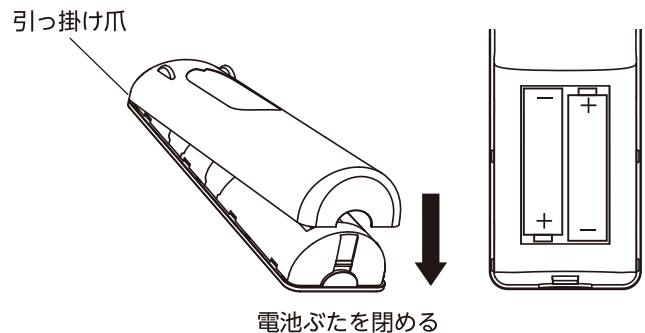
電池ぶたボタンを押して電池ぶたを開きます。



### 2. +と-の向きに注意して、電池を入れる

### 3. 電池ぶたを閉める

上側の爪を引っ掛けて下側をかぶせるようにして電池ぶたを閉めます。カチッと音がするまで押し込んでください。



- リモコンと本体の受信部の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

※P3の乾電池に関する安全上の注意を確認してください。

- リモコンの時計がずれてきた場合は、P8の「リモコンの時計を設定する」で現在時刻を合わせてください。  
また、リモコンの電池を交換した際は、チャンネル・時計・タイマーがリセットされますので再度設定してご使用ください。  
時計を設定しないと、ON・OFFタイマーと留守番タイマーが使用できません。

# 取り付けかた (つづき)

## 6. リモコンの時計を設定する

### 1. 時刻設定ボタンを長押し

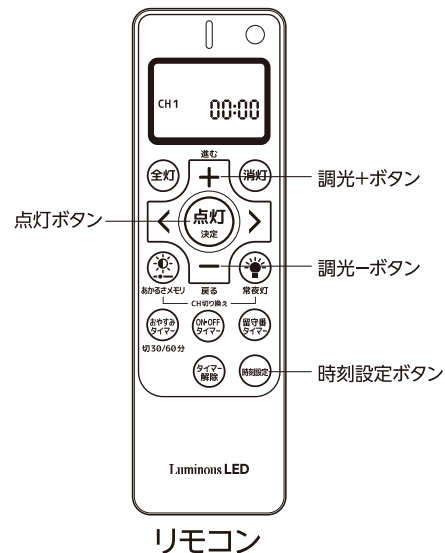
液晶上の時計表示 〇〇時が点滅する。



※時計は24時間表示です。

2. 調光+ボタンで 〇〇時が進む  
調光-ボタンで 〇〇時が戻る  
長押しで進む/戻るが加速します。
3. 点灯ボタンで決定  
〇〇分が点滅する。
4. 調光+ボタンで 〇〇分が進む  
調光-ボタンで 〇〇分が戻る  
長押しで進む/戻るが加速します。
5. 点灯ボタンで決定

12:00



リモコン

### ⚠ 注意

リモコンの電池を交換した際は、チャンネル・時計・タイマーがリセットされますので再度設定してご使用ください。  
時計を設定しないと、ON・OFFタイマーと留守番タイマーが使用できません。



# 正しい使いかた

## 照明の点灯・消灯

### 1. 電源(壁スイッチなど)を入れてからリモコンの「全灯」ボタンを押す

正常に接続されていると、調光100%で点灯します。  
 ・点灯しない場合、接続に問題があることがあります。  
 電源(壁スイッチなど)を切って、本機を再度取り付けなおしてみてください。

### 2. 常夜灯の点灯・切り替え・消灯

常夜灯を点灯させたい場合、常夜灯ボタンを押す。  
 ・常夜灯ボタンを押すと、メインのLED部分が消灯し、常夜灯が点灯します。  
 ・常夜灯を消灯させたい場合、リモコンの消灯ボタンを押すか、電源(壁スイッチ)を切ってください。

### 3. リモコンの各調光ボタンを押して調光する

各調光ボタンを押すと、調光します。(図1を参照)  
 ・リモコンが効かない場合、リモコンの設定などに関する問題があることがあります。以下の点をチェックしてください。  
 ・チャンネル切替(P9の7参照)  
 ・電池の入れかた(P7の5参照)  
 受信部・送信部まわりに遮へし物がないかどうか。

### 4. 照明を消す

電源(壁スイッチなど)が入の状態、リモコンの消灯ボタンを押すと照明が消えますが、照明が消えても待機電力がかかった状態になるため、長時間電源を入れない場合は、電源(壁スイッチなど)を切にしてください。

### 5. リモコンの各調色ボタンを押して調色する

各調色ボタンを押すたびに調色します。(図1を参照)

### 6. おやすみタイマー

点灯時、「おやすみ」を1回押すと、30分後に自動で消灯します。2回押すと、60分後に自動で消灯します。タイマーを解除するときは、もう1度押してください。  
 ※解除されたとき、タイマー設定時よりも長くボタン音が鳴ります。(図2を参照)

### 7. メモリー機能

調光・調色で操作した最後の状態で点灯します。  
 ・壁スイッチメモリー  
 壁スイッチ入・切する場合、壁スイッチで切る前の最後の状態で点灯します。  
 ・リモコンメモリー  
 点灯ボタンを押すと、前回点灯していた調光・調色で点灯します。  
 ・あかるさメモリー  
 お好みの明るさの状態であかるさメモリーボタンを3秒長押しすると、明るさを記憶します。記憶後は、ボタンを1回押すと記憶した明るさになります。  
 ※常夜灯はメモリー点灯しません。  
 ※あかるさメモリーは、リモコン側のメモリーと本体側のメモリーが異なると、正常に動作しない場合があります。  
 その際は、再度あかるさメモリー設定を行ってください。正常に設定されると、本体からピー音が鳴ります。

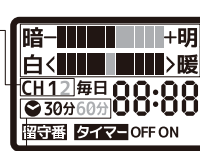
#### ※操作できない場合は、本体とリモコンのチャンネルを確認する。

※出荷時は、本体・リモコンともにチャンネル1(CH1)に設定してあります。  
 ※本体のチャンネル合わせはP9の7をご参照ください。

設定されているチャンネルが表示されます。

おやすみタイマーボタンを押した回数に対応した時間が表示されます。

※30分の場合は30分後、60分の場合は60分後に液晶表示が消えます。



液晶表示部

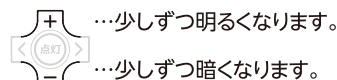
調光・調色ボタンを押す毎に表示が変化します。  
 ※ボタンを離すと10秒後に液晶表示が消えます。



リモコン

図1

調光ボタンを押すたびに、



ボタンを押すたびに、  
 ・左向き... 昼光色  
 ・右向き... 電球色  
 になります。

それ以上、調光・調色できない時には「ピピッ」と音がします。

図2

押す回数	1回目	2回目	3回目/ タイマー解除ボタン
音のイメージ	ピッ	ピピッ	ピー
タイマー時間	30分	60分	解除

#### 注意

2台同じチャンネルにしている場合は、器具間の距離やリモコン操作の方向により同時に点灯しないことがあります。

#### 注意

付属のリモコンの操作に関係なく本製品の明るさが切り替わる場合は、本体とリモコンのチャンネルを変更してください。

#### 注意

リモコンで電源を切にすると、急に消灯せずにゆるやかに消灯していきます。

# 正しい使いかた(つづき)

## ON・OFFタイマーを設定する

- 壁スイッチはONの状態でご使用ください。
- ON・OFFタイマーは、「点灯」、「消灯」のタイマー予約ができます。  
※「点灯」の状態は消灯前の明るさで点灯します。
- ON・OFFタイマーをセットすると、おやすみタイマー/留守番タイマーは解除されます。
- ON・OFFタイマーは1回実行されると、ON・OFFタイマーは解除されます。
- 現在時刻が正しくないときは修正してください。→ (P.8)「リモコンの時計を設定する」

ON・OFFタイマーボタンを押すごとに、液晶画面が、「タイマー」と「ON」、「タイマー」と「OFF」→現在時刻表示になります。タイマーONは設定した時刻に点灯し、タイマーOFFは設定した時刻に消灯します。



### 1. ONタイマーの設定をする

ON・OFFタイマーボタンを1回押し、液晶画面に「タイマー」と「ON」が表示された状態で、もう一度ON・OFFタイマーボタンを3秒長押しすると、タイマー時刻設定モードになります。  
→タイマー時刻設定方法は、(P.8)「リモコンの時計を設定する」



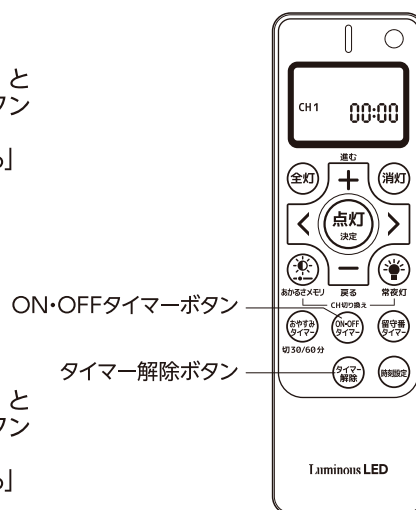
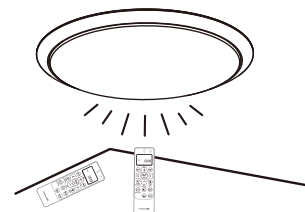
### 2. OFFタイマーの設定をする

ON・OFFタイマーボタンを1回押し、液晶画面に「タイマー」と「OFF」が表示された状態で、もう一度ON・OFFタイマーボタンを3秒長押しすると、タイマー時刻設定モードになります。  
→タイマー時刻設定方法は、(P.8)「リモコンの時計を設定する」



### 3. 照明器具の真下付近に置く

リモコンを置く場所から照明器具が動作するか確認してください。



注意

ON・OFFタイマー、留守番タイマーをセットした際は、リモコンを照明の真下付近に置いてご使用ください。もしくはリモコンで操作ができる範囲に置いてご使用ください。

### 4. ON・OFFタイマーを解除する

タイマー解除ボタンを3秒長押しすると、ON・OFFタイマーが解除され、現在の時刻表示になります。  
(ON・OFFタイマーボタンを、液晶画面からタイマーの表示が消えるまで繰り返し押ししても、ON・OFFタイマーが解除されず。)

# 正しい使いかた(つづき)

## 留守番タイマーを設定する

- 留守番タイマーは、「点灯」と「消灯」をセットで予約ができます。また、「点灯」は消灯前の明るさで点灯します。
- 壁スイッチはONの状態でご使用ください。  
※常夜灯は予約できません。
- 留守番タイマーをセットすると、お休みタイマー/ON・OFFタイマーは解除されます。
- 留守番タイマーは、1回実行または毎日実行を選ぶことができます。
- 現在時刻が正しくないときは修正してください。→ (P.8)「リモコンの時計を設定する」

留守番タイマーボタンを押すごとに、液晶画面が「留守番タイマー」→「留守番タイマー」と「毎日」→「留守番タイマー」と「ON」→「留守番タイマー」と「OFF」→現在の時刻表示になります。



### 1. 留守番タイマーをONに設定する

留守番タイマーボタンを3秒長押しすると、液晶画面に「留守番タイマー」と「ON」が表示され、タイマー時刻設定モードになります。  
タイマー時刻の設定方法は→ (P.8)「リモコンの時計を設定する」



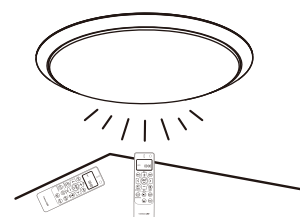
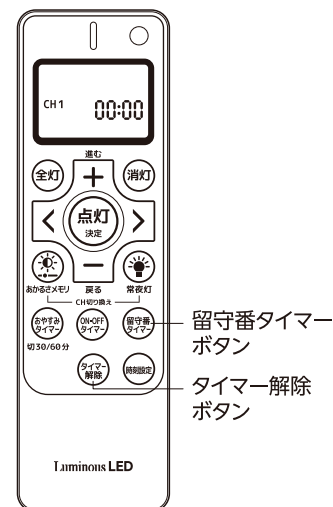
### 2. 留守番タイマーをOFFに設定する

留守番タイマーをONにする設定が終わると、液晶画面に「留守番タイマー」と「OFF」が表示され、タイマー時刻設定モードになります。  
タイマー時刻の設定方法は→ (P.8)「リモコンの時計を設定する」



### 3. 照明器具の真下付近に置く

リモコンを置く場所から照明器具が動作するか確認してください。



### 4. 留守番タイマーを解除する

タイマー解除ボタンを3秒長押しすると、留守番タイマーが解除され、現在の時刻表示になります。  
(留守番タイマーボタンを、液晶画面から留守番タイマーの表示が消えるまで繰り返し押ししても、留守番タイマーが解除されません。)



注意

ON・OFFタイマー、留守番タイマーをセットした際は、リモコンを照明の真下付近に置いてご使用ください。もしくはリモコンで操作ができる範囲に置いてご使用ください。

## リモコンの液晶画面と本体の同期について

リモコンによる操作と無関係に壁スイッチなどで電源を切ると、本体とリモコンの設定が異なってくる場合があります。  
その場合は、本体にリモコンを向けて、設定を変更したり、操作したいボタンを押すと、液晶表示部に表示されている内容が本体に送信され同じ設定になります。

# 取りはずしのしかた



取りはずしの際は、安全のため電源（壁スイッチなど）を切り、通電していないことを確認する。  
感電・火災・やけどの原因になります。  
本体は熱くなっていることがありますので、電源を切ってしばらくたってから行ってください。

## 取りはずしのしかた

お手入れするとき、別の部屋に移動させるとき、転居するときなど、次の手順で取りはずしを行なってください。

取りはずし作業はできるだけ2人で行ってください

### 1. 電源（壁スイッチなど）を切にする

### 2. カバーをはずす

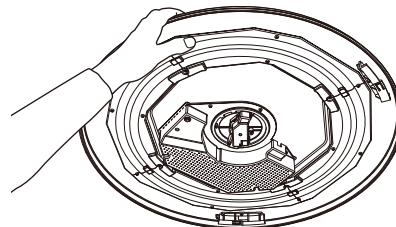
カバー部分を持ち、左に回すとカチッと音がしてロックが解除されます。

### 3. 本体を回転しないように押さえながら、本体透明窓（回転部分）のリリースボタンを押して左回し（反時計回し）にする

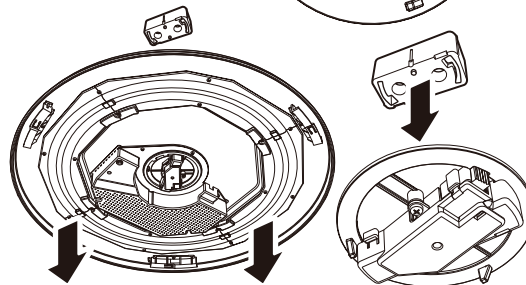
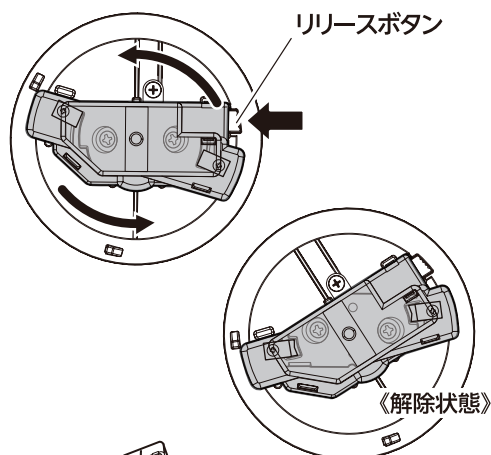
リリースボタンを押さずに透明窓部分を回転させると取付金具に異常な力をかけてしまい、破損させる原因になります。

### 4. 引掛刃が配線器具からはずれたことを確認し、本体を水平に下げる

斜めに下げると、破損の原因になります。



リリースボタンを押しながら回転させる



# お手入れのしかた



お手入れの際は、安全のため電源（壁スイッチなど）を切り、通電していないことを確認する。  
感電・火災・やけどの原因になります。

## お手入れのしかた

- 明るく安全に使用していただくため、定期的に（6か月に1回程度）清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよくしぼってふき取ります。乾いたやわらかい布で仕上げ、十分乾いてから使用を開始してください。
- リモコンの送信部も定期的にお手入れをおこない、汚れをふき取ってください。汚れるとリモコンの効きが悪くなります。



- 石けん水は必ずふき取る。
- 本体の内部を濡らさない。
- シンナー・ベンジンなど揮発性のものや、みがき粉、洗剤、たわし・スポンジのかたい面を使用してお手入れをおこなわない
- 殺虫剤などかけたりしない  
破損・変色などの原因になります。

# 修理・サービスを依頼する前に



**警告**

**修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。**

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
点灯しない	・電源(壁スイッチなど)が「切(OFF)」になっている	電源(壁スイッチなど)を「入(ON)」にする
	・ブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	・本体が天井の取付器具に正しく取り付けられていない	天井の取付器具に正しく取り付ける(取り付け直す)
リモコンが正常に動作しない	・リモコンのチャンネルが本体と一致していない	リモコンのチャンネルを合わせる
	・リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れなおす
	・リモコンの電池が切れて信号が送信されていない	リモコンの電池を新しいものにする
	・本体の受信部に信号が届いていない	障害物を取り除く、もしくは受信可能な範囲から操作する
点灯中・消灯直後など異音がある	・使用環境により電源部から多少の音が発生することがあります	問題ありません。気になる場合はドウシヤお客様相談室まで、ご相談ください
点灯中・LEDがチラつく	・使用環境に大電力を要する機器が同じ電源幹線に接続されていると、負荷変動で電源電圧が不安定になっている	問題ありません。気になる場合は電源の接続を変更するなど、工事業者に相談ください
	・強い電波を発生する機器を近くで使用している	強い電波を発生する機器を本機から距離を離す
明かりが繰り返し変化する	工場出荷時の試験点灯モードになっている	リモコンの全灯ボタンと常夜灯ボタンを同時に5秒以上長押しして、試験点灯モードを解除してください

## よくあるご質問

Q	停電復帰後に勝手に点灯してしまいます。
A	正常動作です。(壁のスイッチは「入(ON)」状態で、リモコンで「切(OFF)」にしていた場合) 通常の停電復帰時は、スイッチやリモコンを探す必要が無いよう、照明が点灯した状態で復帰する設定になっています。点灯中に停電などで一定時間電源が切れた場合、直前の点灯状態で点灯します。
Q	停電復帰後、勝手に点灯しないようにできますか。
A	壁スイッチを「切(OFF)」にしてください。照明器具側では設定できません。
Q	リモコンで電源を「切(OFF)」にすると、ゆっくり消灯します。
A	正常動作です。リモコンで電源を「切(OFF)」にすると、ふんわり消灯します

## 長年ご使用の場合はよく点検を

### このような症状はありませんか？

- ・チカチカしたり点滅する。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。



このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、必ず販売店またはドウシヤお客様相談室に点検をご相談ください。

# memo

A series of horizontal dotted lines for writing.

# アフターサービスについて

## ●製品の保証について

1. この製品には保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みの上大切に保管してください。
2. 保証期間はLED電源・LED光源ユニットはお買い上げの日から5年間、そのほか(本体、リモコン、カバーなど)は1年間です。  
※保証の例外  
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合、保証期間は半分になります。なお、保証の内容に取換作業などは含まれません。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後の修理は販売店またはドウシシャお客様相談室にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

## ●修理を依頼されるときは



### 警告

- ・故障のときは、ただちに使用をやめて配線器具から取りはずし、お買い上げの販売店にこの製品をお持込みのうえ修理をお申しつけください。
- ・ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

アフターサービスについてわからないことは…お買い上げの販売店、またはドウシシャお客様相談室にお問い合わせください。

## 商品についてのご不明な点や故障・修理に関するご相談は

ご購入時のレシートまたは保証書をお手元にご用意の上お問い合わせください。

**WEB**  
からの  
お問い合わせ

**ドウシシャお客様サポート**



<https://www.doshisha.co.jp/support/>



ドウシシャのパーツ購入は **ドウシシャマルシェ**  
**DOSHISHA Marché** 公式オンラインストアで  
ONLINE STORE  
<https://www.doshisha-marche.jp/>

お電話からの  
お問い合わせ

**☎0120-104-481**

【受付時間】9:00～17:00(祝日以外の月～金曜日)

**修理品  
発送先**

ドウシシャ 〒915-0801  
福井カスタマーセンター 福井県越前市家久町41-1  
※事前の連絡なしに商品を発送された場合には、修理を受け付ける  
ことができません。